

第三十六回 ふくおか「万作の会」

新春狂言



野村万作



野村萬斎



野村裕基

狂言

咲
暁
【さかあけ】

狂言

見物左衛門 花見
【けんぶつざえもんはなみ】

狂言

鶏 聾
【にわとりむ】

2023年

1月6日(金)

【午後5時半開場
午後6時半開演】

大濠公園能楽堂

福岡市中央区大濠公園1-5 TEL:092-715-2155

7日(土)

【午後1時開場
午後2時開演】

椅子席:13,000円^(税込) 桟敷席:10,000円^(税込)

問合せ/チケット販売

ノマ企画 <http://nomakikaku.com>

TEL:092-781-1267

Ⓜ Produced by Noma Kikaku

ふくおか「万作の会」

新春狂言

二〇二三年

六日(金)

一月七日(土)

開演 午後六時半
開演 午後二時狂言「咲嘩」
(さっか)

野村萬齋 野村裕基 高野和憲



都の伯父を連れて来るように主人に命じられた太郎冠者。都で伯父と名乗る男を見つけ連れ帰るがこの男、実は「見乞の咲嘩」という有名な詐欺師。氣付いた主人は、穏便に咲嘩を帰らせようとするが、太郎冠者の勘違いで…。

憎めないキャラクターの太郎冠者を中心に織りなす、とぼけたやり取りをお楽しみください。

狂言「見物左衛門 花見」
(けんぶつざえもんはなみ)

野村万作

季節は桜の花盛り。見物左衛門という男が友人を誘い、京都・清水の地主神社へ花見に行こうとするが、友人は既に出かけたというので一人で出かける。途中、酒宴に紛れ込んだり、謡や舞を楽しみながら、清水・太秦・嵐山と見て廻り…。

一曲を通してシテが一人で演じる珍しい狂言です。桜の作り物を出すことも無く、シテの台詞と演技のみで、満開の桜やそれを樂しむ人々、空間を描きます。狂言の素手の芸の真骨頂をお楽しみください。

狂言「鶏聳」
(にわとりむこ)

野村裕基 石田幸雄 月崎晴夫 野村萬齋



※写真は今回の配役とは異なります。

聳入りすることになった若者が、ある男にその作法を聞きに出かける。男はからかってやろうと、当世の流行は鶏の鳴きまねや蹴りあう真似をすることだと教える。そうとは知らない若者は、舅宅へ出向き、教えられたとおり鶏の真似を始める。驚いた舅は…。

聳物特有のほのぼのとした人間関係が垣間見られます。中世流行した闘鶏を背景にしています。

主催 ふくおか「万作の会」

共催 国際ソロプチミスト福岡 認証50周年記念奉仕事業 1月6日(金)公演のみ

後援 西日本新聞社・TNCテレビ西日本・FBS福岡放送・九州朝日放送・RKB毎日放送・福岡県・福岡市・福岡県教育委員会・福岡市教育委員会(公財)福岡市文化芸術振興財団・西日本鉄道・九州旅客鉄道株式会社

協賛 久原本家 茅乃舎・舶来品のレイメイ・積水ハウス(株)福岡支店・志賀設計・日本航空

企画・プロデュース ㊟ノマ企画

総合お申込みお問い合わせ

ノマ企画 内

ふくおか「万作の会」事務局

〒810-0062 福岡市中央区荒戸2丁目5-9-701

TEL 092-781-1267

FAX 092-781-1268

✉ info@nomakikaku.com

受付/10:00~18:00 土・日・祝 休

■チケット販売所

電子チケットぴあ(https://t.pia.jp [Pコード514-640])
ノマ企画・大瀬公園能楽堂

- 一般チケットの発売は10月10日(月・祝)からとなっております。
- お客様のお申込みは、小学校高学年以上とさせていただきます。
- チケットの払い戻しはおことわり致します。

※演目・配役は止むを得ず変更する場合がございますが、その場合は、ご了承下さいようお願い致します。

新型コロナウイルス
感染予防の取り組み

- ◇ 座席使用率は100%の予定ですが、今後の感染状況によっては変更になる可能性があります。
- ◇ 当日、会場内でのマスク使用、手指消毒等ご協力をお願いいたします。
- ◇ 入場時の検温にて37.5度以上の発熱が認められた場合は、ご入場をお断りさせていただきます。